

「生で聴くルネサンスの合唱曲③～いにしへの恋の歌」講座の概要

☆2024年11月28日（木）実施

監修：中井英文（西宮東高等学校教諭）

指揮・リュート演奏・歌：笠原雅仁

ヴィオラ・ダ・ガンバ演奏：野田祐子

合唱：Chorus Jovis（コールス・ヨービス）

ソプラノ：泉由香 上木裕子

アルト：椿本実加 西野夏子

テノール：笠原雅仁 中井英文 中安公則

バス：清水英幸 野崎恭輔

場所：なるお文化ホール

出席人数：252名



講座の概要

ご好評をいただいているレクチャーコンサートの第三弾で、今回は全曲ラブ・ソングのプログラムでした。「ルネサンスの原動力のひとつは恋愛だった」というお話から始まり、解説を織り交ぜながら中世の大作曲家マシヨーに始まって初期バロックのモンテヴェルディまでの名曲を年代順に演奏し、音楽史を振り返っていくような舞台構成にしました。

講座の資料など

投影用ファイル

https://www.fureai-cloud.jp/_view/nishihh/attach/get2/2455/0



歌詞の原文と逐語訳

https://www.fureai-cloud.jp/_view/nishihh/attach/get2/2388/0



出演の声楽アンサンブル「Chorus Jovis（コールス・ヨービス）」のサイト

https://www.facebook.com/profile.php?id=100085838503557&locale=ja_JP

講座のご評価：

「本日の講座はお客様が期待するようなものでしたか。」という問いに①「あてはまる」 174 名 (76.3%)、②「どちらかといえばあてはまる」 42 名 (18.49%)、③「どちらかといえばあてはまらない」 11 名 (4.8%)、④「あてはまらない」 1 名 (0.4%)、評価記入なしが 24 名でした。

お客様の感想としましては、肯定的なものは「歌や声が素晴しかった」「ハーモニーが心地良かった」「ルネサンスの歌や楽器を聴く機会が少ないので有り難い」「解説が分かり易かった」「毎年楽しみにしています」「来年も期待しています」などがありました。

否定的な感想としましては、「館内が寒かったので暖房を入れてほしかった」「少し内容が難しい」「楽器について解説が欲しかった」などがありました。なお、暖房は運営側の経験不足で、開幕直前に暖房を入れようとすると楽器奏者から「今から暖めると音程が狂って調整が難しい」と言わ

れ、暖房なしになりました。楽器の調弦で音程を合わせる前からホールを暖めておかねばならなかったようです。次回以降、教訓とさせていただきます。今回は、ご不便をおかけしてすみませんでした。

お客様のご感想紹介

「初めてルネサンスの音楽を聴きました。イメージよりも静かな、おごそかな音楽ですね。素敵なハーモニーの声でした。解説も入れてくださり、分りやすかったです。歌詞は結構人間くさくてダイレクトな表現なのですね、少し笑いました。ありがとうございました。」

「美しい歌声に、しばし世界の憂いを忘れさせて頂きました。絶妙な解説と訳詞に感慨深いものを感じ、二重・三重に楽しませていただきました。」

「遠い昔のルネサンス音楽の世界に、一曲目から引き込まれました。恋のかけひき・悩みなどはいつの時代も同じ。題材が面白く、物語の舞台が目の前に映るようでした。今の時代に、こんなに美しく再現することができるのですね。歌声の美しさはもちろんですが、ハーモニーやみなさまの表情などからたくさんの幸せを今日はいただきました。いっぱい感動！！すてきな秋の一日となりました。」